

## リニューアルでアナザーストーリーを描いた“絵本の空間”が登場

# 海にイ主んでる夢を見る展

絵本の世界を散歩しているような非日常が体験できます！

海遊館（大阪市港区）では、2019年3月15日（金）より、人をはじめ生き物に共通する「住<sup>すまい</sup>」をテーマに生きる工夫や暮らし方が特徴的な魚たちを紹介する特別展「海に住んでる夢を見る～魚と私のふしぎなおうち～」を開催しています。（2019年3月7日報道発表済）

この度、2019年7月12日（金）より、本特別展の会場に隣接しているエレベーターホールを特設コーナーとしてリニューアルします。本特別展には、劇作家の石神夏希氏による“なかなか眠れない主人公に海の生き物から手紙が届くストーリー”が設定されていますが、今回のリニューアルでは、本特別展のアナザーストーリーとして絵本「海に住んでる夢を見る」の空間が登場します。エレベーターホール全体を絵本の世界観でデザインし、絵本の1ページを透過性のある素材で表現することで、鑑賞者がまるで絵本の世界を散歩しているような非日常を体験していただけます。



絵本の空間イメージ

その他、関連した工事として、特別展のエンドロール部分の外光をカーテンで遮光して、特別展の鑑賞体験を想起させる“物語のようなことば”を展示し、回廊型の美術館のように、ピンスポットのライトで照らされた生態解説のイラストが際立つ空間へとリフレッシュします。

今回、アナザーストーリーを描いた絵本「海に住んでる夢を見る」の世界を体感したり、イラストが際立つ生態解説をじっくりとご覧いただくことで、鑑賞者の五感を刺激し、生き物や自然への興味関心に繋がればと考えています。

### ■特別展「海に住んでる夢を見る～魚と私のふしぎなおうち～」のアナザーストーリー“絵本の空間”について

《開催期間》 2019年7月12日（金）～2020年1月7日（火）

《時間》 海遊館営業時間と同じ

《場所》 海遊館エントランスビル4F エレベーターホール内

《料金》 無料（海遊館入館料を含む）

《問い合わせ》 海遊館インフォメーション 06-6576-5501

## ■アナザーストーリーを描いた絵本「海に住んでる夢を見る」について

アナザーストーリーを描いた絵本「海に住んでる夢を見る」は、本特別展のプロモーションの一環として制作した車内吊りの広告ポスターを製本したものです。海遊館前イベント広場に掲出しているバナーデザインにも採用しています。

広告ポスターを絵本に仕上げることで、普段、水族館や生き物に興味がない方が、自然への興味関心や生き物に親しみを持っていただく機会になればという思いから制作しました。

《内 容》 1人の女の子が海の中に住んでいる夢を見るストーリー

《作 者》 絵：角 裕美 氏 文：三島 靖之 氏

《ページ数》 全5ページ（サイズ：A4 見開き）

《発行部数》 200部（非売品）

※各種プレゼント企画にて無料配布済み



絵本「海に住んでる夢を見る」

## ■特別展のエンドロール（出口通路）について

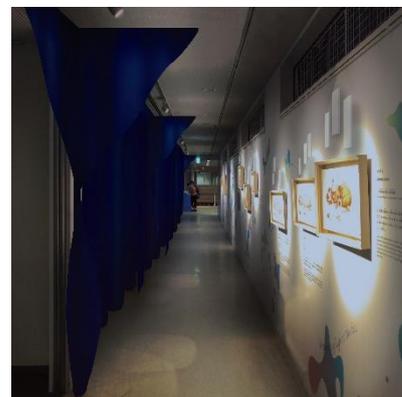
今回の特別展では暮らし方や生きる工夫が特徴的な生き物（13種約115点）を展示していますが、展示室内に図鑑のような生物名や生態解説は一切なく、鑑賞者の内面への問いかけや想像力を喚起する“物語のようなことば”を展示しています。

一方、出口通路は本特別展のエンドロールとして展開し、今回の特別展で伝えたい生き物の特徴が忠実に表現されたイラスト（原画）と生態解説を展示することで、鑑賞者が展示室内で得た気づきや疑問の“答え合わせ”ができる空間となっています。

《展示数》 イラスト（原画）9点

ガンガゼとヘコアユ、トビハゼ、ジョーフィッシュ、マダコ、カイカムリ、  
ヒレナガネズリンボウとテッポウエビ、キンチャクガニ、  
ソメンヤドカリ、センジュイソギンチャクとカクレクマノミ

《作 者》 魚譜画家 長嶋祐成氏



リニューアル後の出口通路（イメージ）

## 【参考資料】

### ■角 裕美（かど ひろみ）：アナザーストーリーのイラスト担当

1985年広島県生まれ。イラストレーター、絵描き。2008年3月 武蔵野美術大学、視覚伝達デザイン学科卒業。

鮮やかな色彩で独自の空想世界を描き、個展等で作品の発表を行う。また、イラストレーターとして広告物、雑誌、ウェブなど幅広い作品提供にも取り組み、海遊館の特別展「海に住んでる夢を見る～魚と私のふしぎなおうち～」の広告イラストを担当する。

